

③ マイノリティの社会参加支援活動

Nos actions de soutien aux minorités pour leur participation sociale
Support activities for social participation of minority

世界の子供たちの可能性を引き出す

Développer les potentiels des enfants à travers le monde
Develop opportunities for children of the world

1: BIBLO プロジェクトで教育の底上げ支援活動

さまざまな事情で気軽に本を手にとることが難しい子供達に、活字に触れ合う機会を増やし、読書が楽しめるようサポートを行います。



手を洗おう会では2020年度より新たに BIBLO プロジェクトを始動しました。

BIBLO とはフランス語の《Bibliothèque «lumière dans l'obscurité»》の略で一隅を照らす図書館を意味します。

たくさんの良質な本に囲まれて育つことは、子供の人生にとってとても大切なことですが、それが叶わない子供が多いのも事実です。セネガルでは、生活に精一杯で本を買うことのできない家庭の子供たち、貧困からイスラム教の寄宿学校(ダーラ)に預けられた子供たちに、活字に親しむ機会を増やそうと、2021年より児童書、童話、絵本、漫画などを寄贈し始めました。

今後は寄付した本の読書の実態調査や、識字率の低い親へ読書理解のための啓発活動を行い、子供の読書意欲を高め、本を読める環境づくりに向けた活動も進める予定です。

またベトナムでも枯葉剤障害者収容施設や病院へ、モアプロダクションと協力を受けながら絵本の寄付を進めています。



<図55 2021年篠塚建次郎小学校寄贈式の様子>

2:さをり織りで社会参画活動

ハンディキャップを持つ子供たちが自分の力や家族の協力で、将来への希望を持てるような活動を少しずつ進めております。



<ベトナム>

小さな織り機で簡単に布地が作れる「さをり織」。この手軽さをベトナムの枯葉剤障害者収容施設「平和村」の子供たちの職業支援にと活動をはじめられたのは、持田夫妻でした。私たちはその活動に共感し、2018年、手洗い場設置支援をしてきた「友好村」へ彦根ロータリークラブに協賛いただき、2機のさをり織機を寄贈いたしました。

糸も提供し訓練を始めたところ【図55&図56】、子供たちはまたたく間に技術を習得し、独自の美的感覚を活かした素晴らしい作品が次々と出来上がっております【図57】。

縫製の技術も少しずつ上達し、全ての作品には、子供たちの社会参画の喜びが感じられます。



<図56 平和村で織り方研修を受ける> <図57 寄贈のさをり織り機到着> <図58 半年後作品完成>

3:未就学児の支援活動

社会参画がスムーズにできるよう、学校へ行けない事情の子供たちの支援を致します。



<セネガル>

セネガルでは生きていくために家族を支え、自分の時間を持つことができない子供たちがまだいる現状です。

もちろん学校へも行けず読み書きもできません。そのような子供たちが少しでも社会へ参加できるような活動に繋がっていきたいと思っております。

セネガルの地方部では、自宅から往復 1 時間以上の井戸へ水を汲みにいくことが子供の仕事となっています【図59&図60&図61】。そのため、学校へ通う時間もなく、衛生についての知識も全くありません。



<図59&図60&図61 井戸から水を汲み、家までの長い道のりを一日に何往復もする女兒>

そのような子供たちに、手洗いの絵を描いてもらい、藁に貼って作品を展示します【図62】。



<図62 藁に貼っての手洗いの展覧会>

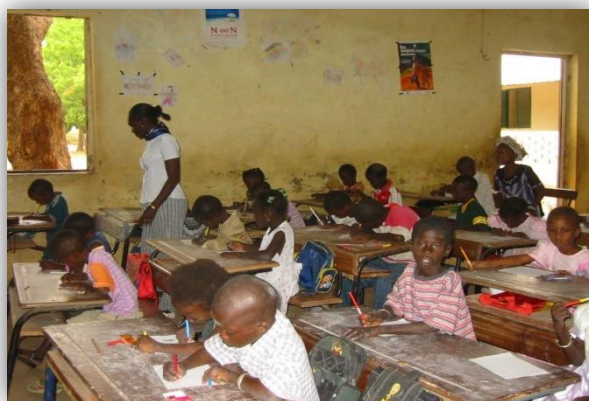
子供たちは絵が展示されたことを大変喜びます。この喜びが手を洗う大切さを心に刻むのではないのでしょうか。

水不足からトイレの排水も悪く【図63】、手洗い指導がトイレ清掃や衛生への意識改革へとつながっていくことを望んでおります。

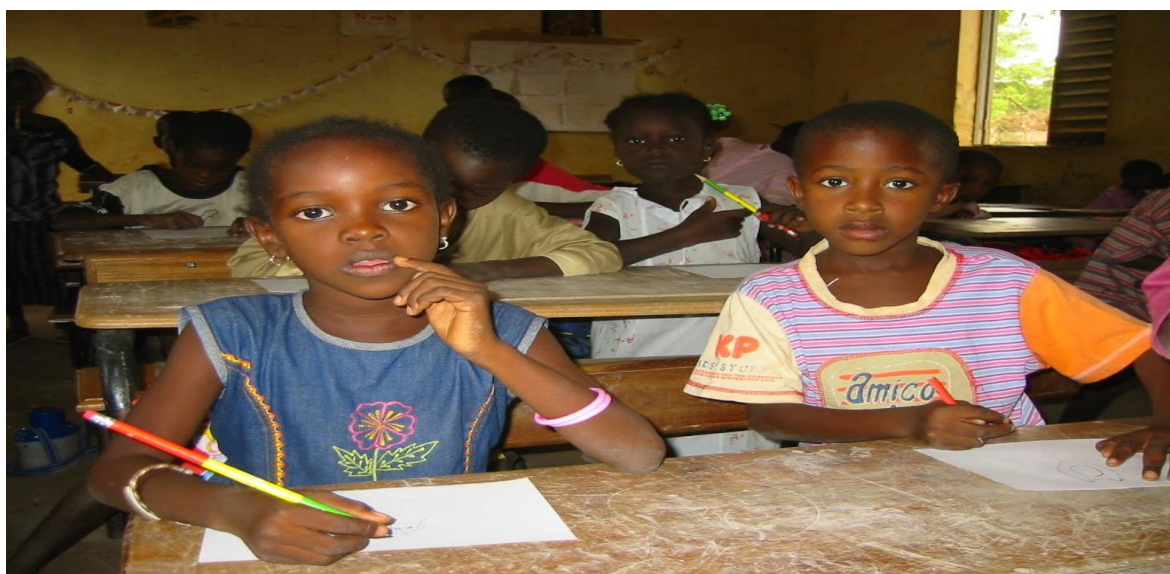


<図63 地方のトイレ-汲み取り式トイレすら数少ない>

また今後は、ストリートチルドレンへの就学支援の活動にも力を入れていきたいと思います。写真【図64&図65&図66】は JICA 青年協力隊員によって就学を推進した学校風景です。



<図64&図65 クンビア・ソセ校での授業風景>



<図66 就学出来た明るい表情の子どもたち>